
第24回

日本水大賞

2022 日本ストックホルム青少年水大賞

受賞者へお祝いの言葉

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

第24回日本水大賞を受賞された皆さま、誠におめでとうございます。

大賞を受賞された「ベシワール会／PMS（平和医療団・日本）」の皆さまは、アフガニスタンで飢えと渇きに苦しむ多くの住民を救うため、医療活動と並行して灌漑水利事業に取り組まれてきました。

わが国の伝統的工法を採用してつくられた堰や水路は、約65万人の住民の生活を支えるだけでなく、現地の人々で維持管理が可能ないようにつくられているため、人材育成や技術の普及につながるものとして高く評価されたと存じます。

国土交通大臣賞を受賞された「筑後川まるごと博物館運営委員会」の皆さまは、昭和28年筑後川大水害を後世へ伝えるため、平成15年から写真展や証言発表会を開催されてきました。

さまざまな工夫を盛り込みながら当時の記憶を掘り起こし、次世代へ語り継ぐことは、昨今頻発している豪雨災害の被害を軽減する上でも重要であり、多くの人々の助けになるものです。

福岡県では、「ふくおか水もり自慢！」を開催するなど、県内のさまざまな地域で川や水に関わる活動をされている方々の連携を深める取り組みを進めています。このような中、皆さまが栄えある賞を受賞されましたことは大変喜ばしい限りです。

今回の受賞を機に、皆さまの活動がますます発展し、さらに飛躍されることを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

令和4年6月14日
福岡県知事 服部 誠太郎

祝 辞

群馬県立尾瀬高等学校自然環境科の皆様、第24回日本水大賞環境大臣賞の受賞、誠におめでとうございます。

今回の受賞は、尾瀬ヶ原の定期的な水質測定やマイクロプラスチック調査などを行うことで、尾瀬の水環境を明らかにしたこと、また片品川において希少種を含む水生生物の観察や保全活動を実施してきたことなど、継続的な環境教育活動が高く評価されたものと存じております。

群馬県では、現在、令和3年1月に策定した「新・群馬県総合計画」に基づき、尾瀬の魅力再発見の取組を推進するとともに、首都圏の水源地域としての水環境の保全に取り組んでいます。皆様の取り組みは、世界に誇る豊かな自然の宝庫である尾瀬の魅力発信や尾瀬を含む利根川水系全体の環境保全に大きく貢献するものであり、今回の受賞は大変意義のあることと考えております。

今回の受賞を機に、群馬県立尾瀬高等学校自然環境科の皆様の活動がさらに大きく広がっていくこととともに、皆様自身が、将来、様々な分野でリーダーシップをとり、社会的課題解決のサイクルを回し始めていただくことを期待いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和4年6月14日
群馬県知事 山本 一太

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

第24回日本水大賞の「厚生労働大臣賞」を受賞された「特定非営利活動法人多摩源流こすげ」の皆様、心からお祝い申し上げます。

このたびの栄えある受賞は、荒廃した森林の水源涵養機能を回復させる技術を学び、実践できる講座などを開催することによって、小菅村内の山林はもちろんのこと、日本各地の水源の森の環境再生に貢献していることが高く評価されたものであり、皆様のご努力に深く敬意を表します。

森林は、木材の生産をはじめ、災害の防止、水源の涵養、地球温暖化の防止、保健休養などの多面的機能を有し、県民の暮らしを支えるとともに、様々な恩恵をもたらしています。

県土の78%を森林が占める全国有数の森林県である山梨県といたしましては、森林を有効に活用し、将来にわたり良好な状態に維持するとともに、環境・経済・社会が好循環する持続可能な社会の実現を目指して参りますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

今回の受賞を契機に「特定非営利活動法人多摩源流こすげ」が今後ますます発展することを祈念し、お祝いの言葉といたします。

令和4年6月14日
山梨県知事 長崎 幸太郎

祝 辞

第24回日本水大賞「農林水産大臣賞」を受賞されました「特定非営利活動法人足尾に緑を育てる会」の皆様、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

貴会は平成8年の発足以来、足尾の山の緑化活動に官民協働で取り組んでおり、これまでに実施した植樹活動への参加者は20万人を超え、植えた木の本数は26万本以上と顕著な功績を残しております。こうした「足尾に緑を育てる会」の活動は、利根川の一大支流である渡良瀬川への土砂の流出を防ぎ、災害の防止や水環境の健全化への寄与が高く評価されてきました。

更に、平成12年からは毎年、環境に関する講演会・シンポジウム等を行う足尾グリーンフォーラムを開催し、参加者相互の交流を促進するなど、全国の活動組織の手本となっていることに加え、貴会ならではの「見て、体験して、学ぶ」環境学習活動が、幅広い主体が協働する取組として高く評価されて、今回の栄えある受賞となったものと伺っております。

今回の受賞を契機に、「足尾に緑を育てる会」の活動が今後ますます発展することをお祈りいたしますとともに、皆様のこれまでのご努力に心から敬意を表しまして、お祝いの言葉といたします。

令和4年6月14日
栃木県知事 福田 富一

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

「第24回日本水大賞」の各賞を受賞された皆様に心からお祝い申し上げます。

「文部科学大臣賞」を受賞されました「かつらがわ大津市立葛川小・中学校KCLプロジェクト」の皆様におかれましては、琵琶湖の源流・安曇川上流の豊かな水と地域の資源を活かし、いかだ筏流しの復活の取組など流域の水文化を広く発信して、地域に根付く水文化の保全や地域の活性化に寄与されました。

また、「未来開拓賞」を受賞されました「びわ湖トラストジュニアドクター育成塾ビワオオウズムシ調査隊」の皆様におかれましては、琵琶湖の全層循環停止を受け、最新技術を駆使しながら湖底の大規模調査を実施して、絶滅危惧種ビワオオウズムシの生息状況や湖底環境の変化など、貴重なデータを数多く集められました。

本県では琵琶湖版SDGsであるマザーレイクゴールズ（MLGs）を策定、推進しています。次世代を担う若者が中心となった皆様方の活動は、持続可能な社会に向けたMLGsにつながる取組であり、大変心強く感じております。

今回の受賞を励みに、今後ますます御活躍されることをお祈りいたしますとともに、活動を支えてこられた関係の皆様のご尽力に心から敬意を表しまして、お祝いの言葉といたします。

令和4年6月14日
滋賀県知事 三日月 大造

祝 辞

第24回日本水大賞「経済産業大臣賞」を受賞された「大分キヤノンマテリアル株式会社」の皆様、誠にありがとうございます。

皆様は、工場からの排水を外に出さず再利用する完全クローズドシステムの導入にあたり、「共生」という企業理念のもと、企業活動と環境保全をともに効率よく進めるため、数々の工夫を重ねてこられました。

また、小学生を対象に工場見学や環境出前授業を実施するなど、水資源の重要性を伝える取組や、海岸・河川等の清掃活動に積極的に参加し、地域と一体となって活動を進めていることも高く評価され、今回の受賞につながったものと伺っており、活動に関わられた社員の皆様に心から敬意を表します。

大分県では、循環を基調とする地域社会の構築や県民総参加の美しく快適な県づくりを目指しています。今回の受賞を機に、こうした活動がさらに活発になることを期待しています。

この受賞を機に、皆様の活動がますます活発になり、さらに発展されることを祈念しまして、お祝いの言葉といたします。

令和4年6月14日
大分県知事 広瀬 勝貞

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

第24回日本水大賞「市民活動賞」を受賞された「市民防災まちづくり塾」の皆様に、心からお祝い申し上げます。

「市民防災まちづくり塾」の皆様は、利根川、荒川流域を中心として、一般の方を対象に、分かりやすく水災害を伝えること、備える意識を向上させることを目標に、防災講演会や、自助力・公助力の向上を目指した避難体験キャンプ、河川防災関連施設見学会などを開催されています。

とりわけ、土屋信行氏を「かたりべ」とした防災講演会は、これまで280回開催されており、千葉県内の自治会をはじめ、各種団体の要望に応じて開催するなど、一般の方の防災意識や行動力、発災時の自助力や共助力の向上に尽力してこられました。

今回の受賞は、このような活動を長期間にわたって継続されている姿が、市民活動賞に相応しいとして高く評価されたものと伺っております。

千葉県では、近年多発している豪雨災害に備え、河川改修などのハード整備の他、浸水想定区域図の作成などのソフト対策も進めていますが、県民の防災意識の向上も重要であり、受賞された皆様の活動に心から敬意を表します。

この度の受賞を契機に、皆様の活動がますます発展されることを祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

令和4年6月14日
千葉県知事 熊谷 俊人

祝 辞

戸門秀雄様、「第24回日本水大賞審査部会特別賞」の受賞、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

戸門様は、1976年に埼玉県入間市で開店した溪流魚や山菜など季節の食材を提供する料理店を経営する傍ら、半世紀近くにわたり、地元入間川をはじめ東日本各地の川漁について、漁師の暮らし、伝統的な漁法、漁具、料理法などを伝承しようと各地を訪ね、記録活動を続けてこられました。この度の受賞は、このような長年の取組が高く評価されたものと考えます。

埼玉県は、県土面積に占める河川面積の割合が全国2位と水辺空間が豊富であり、恵み豊かな川との共生や保全に向けた活動の活性化、地域の特性を活かした生物多様性と生態系の保全などの取組を進めているところです。

こうした中、戸門様がこのような栄えある賞を受賞されたことは大変喜ばしく、県内の河川で精力的に水産業や地域貢献などの活動をされている多くの皆様の大きな励みとなります。

今回の受賞を契機に、ますます御活躍されますことを祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和4年6月14日
埼玉県知事 大野 元裕

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

第24回日本水大賞「審査部会特別賞」を受賞された、理水化学株式会社の皆様に心からお祝いを申し上げます。

これまで、皆様が取り組んでこられた活動において、豪雨や地震などの自然災害で水道施設が被災した際に備え、平常時から復旧に必要な資機材を備蓄することや、全国の水道事業体と連携強化を進めることにより、東日本大震災をはじめ各地の被災地における断水等の復旧に大きな役割を果たしてきたことが高く評価されたものであります。

大阪府においても、災害発生時には被災された住民に食料や生活必需品などの物資を迅速かつ効率的に供給できるよう、体制の強化に努めているところですが、災害からの早期復旧には民間の方々からの協力も不可欠となります。そのため、皆様が水道施設の早期復旧を重要な社会貢献と考え、真摯に取り組まれている姿に対しまして、深く敬意を表するところです。

この度の受賞を機に、皆様のような取組が一層推進されることを祈念し、お祝いの言葉といたします。

令和4年6月14日
大阪府知事 吉村 洋文

祝 辞

青森県立名久井農業高等学校 環境研究班「FloraHunters」の皆さん、2022日本ストックホルム青少年水大賞の受賞、誠におめでとうございます。

この度の受賞は、乾燥・半乾燥地域の地表付近に、塩類が集積して農地が荒廃していく世界的な環境問題・水問題に対処すべく、農地の地下に埋設した石灰層を降水や地下水が通過することで、塩類の集積を抑制するシステムを考案したこと、また、その石灰層に用いる石灰資材の材料について、発展途上国などにおいても比較的容易に実装できるよう工夫したことが、高く評価されたものと伺っております。今後、この技術が、乾燥・半乾燥地域における持続可能な農業の実現に大いに貢献するものと期待しております。

青森県では、新しい価値を創造する力や国際感覚を身に付け、世界に向かってチャレンジできる人財（じんざい）の育成に取り組んでおり、これからの時代を担う皆さんが、世界的な環境問題・水問題の解決に果敢に挑戦されたことは、非常に頼もしく、嬉しく思っております。

今回の受賞を契機に、皆様の活動が今後ますます発展されることを祈念し、お祝いの言葉といたします。

令和4年6月14日
青森県知事 三村 申吾

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

「第24回日本水大賞・2022日本ストックホルム青少年水大賞」の各賞を受賞された皆様、誠におめでとうございます。

日本ストックホルム青少年水大賞「審査部会特別賞」を受賞された「海城高等学校」の皆様は、新宿区立おとめ山公園の湧水の調査・研究に、長年にわたり取り組んでこられました。

このたびの栄誉は、皆様の着実な活動と機械学習という技術を結び付け、高精度な地下水位予測モデルの開発という素晴らしい成果を生み出したことが評価されたものであります。大変、喜ばしく思います。

東京都は、令和2年度末に「『未来の東京』戦略」を策定し、この2月には戦略をバージョンアップしました。その一つに、「水と緑溢れる東京戦略」があります。都民に憩いと癒しの場を提供し、まちに潤いを与えるため、魅力ある水辺空間の創出や水質改善に継続的に取り組んでまいります。

皆様が、今回の受賞を契機に、水資源や水環境の保全・再生に向けて、益々ご活躍されることを祈念し、お祝いの言葉といたします。

令和4年6月14日
東京都知事 小池 百合子